直江兼続

徳川家康をも恐れさせる、愛と義に生きた戦国の智将

BOTTLE ARMER

ボトルアーマー 直江兼続 1560-1619

直江兼続とは、上杉景勝に仕えた戦国武将で、「愛」の字をかたどった前立ての兜を身に着けていたことで有名です。青年時代に景勝の近習の一人として登場し、その才覚を見出されて筆頭家老となり政治外交軍事全ての面で活躍しました。その仕事ぶりは「万事において隙なく行う」と評されています。

石田三成と親交が深く、関ヶ原の合戦の発端となる会津征伐を引き起こし、西軍の一翼を担ったといわれています。徳川家康が送った上杉家への問責書に対する返書として兼続が作成した、いわゆる「直江状」は名文として称され兼続の名を後世にまで名を残すこととなりました。

ZIPANG では、そんな伝説を持つ直江兼続の甲冑を、「ボトルアーマー」として精巧にミニチュア化。戦国を駆け抜けた男たちの武勇伝に思いを馳せながら、お気に入りのお酒をお楽しみ下さい。